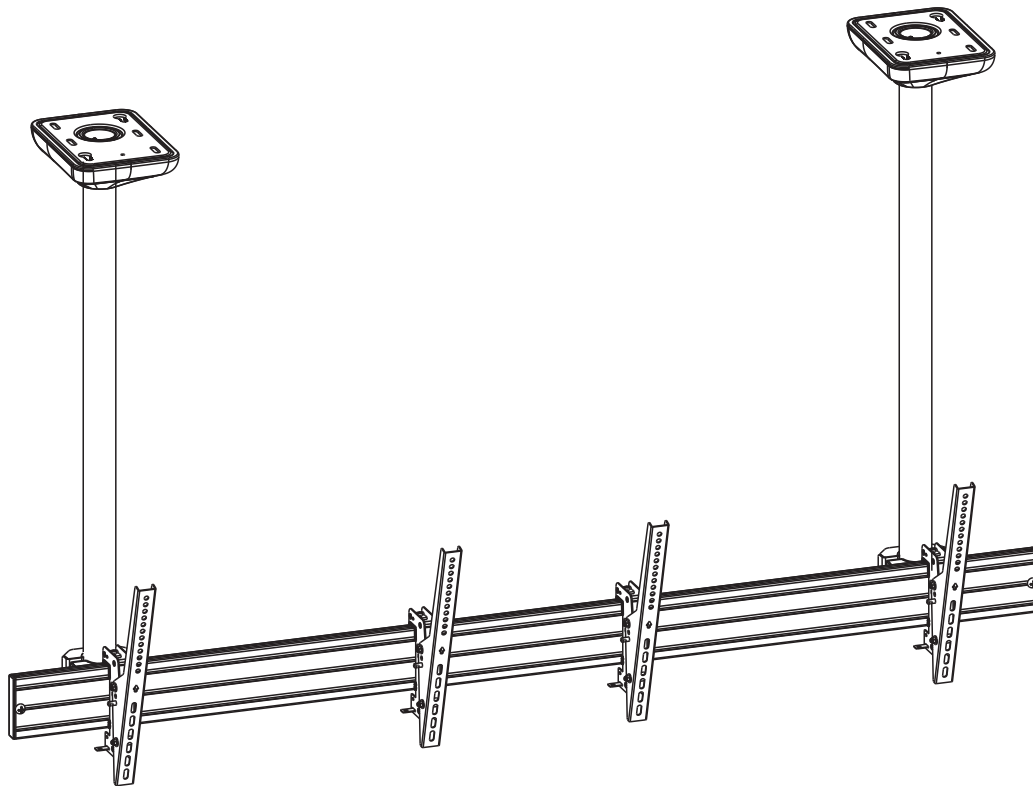


デジタルサイネージディスプレイ天吊り金具 使用・取付け説明書

型番
『DSC-MLS01/DSC-MLL02』

- 本金具は工事業専用です。取付け工事は必ず工事専門業者にご依頼ください。
- 工事専門業者以外は天井への設置作業を行わないでください。



※DSC-MLS01,DSC-MLL02 共通の説明になっています。

この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。










禁止の行為である事を告げるものです。







行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告

-  本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
-  金具自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の天井構造・強度については弊社では責任が持てない事をご了承ください。
-  設置施工・工事については弊社では一切保証がございません。取付け不備による万が一の事故や損害に関しても一切の保証がございませんので、取付けの際は十分に注意し、安全性を考慮したうえで作業を行ってください。
-  必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、ディスプレイの落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。
-  取付ける天井の材質や場所によって、耐荷重が異なります。ディスプレイと金具などの総荷重、地震や想定される外力に長時間十分に耐える場所に取り付けてください。少しでも取付けが困難と思われた場合は中止してください。取付け場所によっては別途補強が必要な場合もありますので、専門業者と相談しよく確認した上で設置工事を依頼してください。
-  一度設置した天井側の穴を再利用しての再設置は避けてください。取付け強度が極端に低下しており大変危険です。
-  商品ごとに定められている許容重量以下のディスプレイのみをご使用ください。

注意

-  取付けを行う前に、ディスプレイが今回お買い上げの金具に取り付けできるかを今一度確認してください。天井側の取付けを行った後に、ディスプレイの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。
-  金具の種類やディスプレイの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。
-  設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。
-  次の場所には、設置をしないでください。
 - 天井ボード（部屋から見える天井部）のみの場所、強度の弱い場所
 - 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
 - ぐらつく、傾くなど不安定な場所
 - 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
 - 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
 - ディスプレイの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
 - 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
 - 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
 - その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

取付け設置時に必要な道具・工具

- プラスドライバー
- 必要に応じて、電動ドライバー
- ドリル（下穴用、電動ドライバーと併用できる物ならば尚可です）
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- メジャー（設置箇所の計測、水平、垂直の計測に使用します）
- ペン、鉛筆（設置箇所、ネジ穴のマーキングなどに使用します）
- 水平器

付属ネジに関して

- ディスプレイ側のネジは、多くのディスプレイを取付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのものを付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。
- 天井側のビスは、コンクリート天井用のネジを付属しておりますが、付属のネジで合わない場合は、取付ける天井の強度や材質に合わせて別途をご用意ください。

付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

金具本体・組立部品・天井に使用する部品

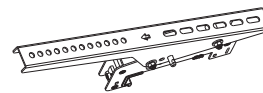


a. ディスプレイ側プレート…1個

※表裏があります。溝が3列ある側が表（ディスプレイ取付け面）です



b. ポールジョイント…2個
(1個ずつ箱に梱包)



c. ブラケット…4個
(2個ずつ箱に梱包)



d. ポール…2個



e. ポール用
エンドキャップ
(ポールに装着されて
います) …2個

同じ袋に梱包



f. ディスプレイ側プレート用
エンドキャップ…2個



g. ケーブルクリップ
…4個

各1個ずつが組立てられた状態で、計2つの箱に梱包



h. 天井プレート…2個



i. 天井プレートカバー
(メス) …2個



j. 天井プレートカバー
(オス) …2個

付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

組立てに使用する部品

同じ袋に梱包

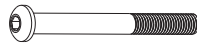


k. スライドナット
…10個



l. M8×12 ボルト
…12個

同じ袋に梱包



m. M8×80 ボルト
…6個



n. M8×10 ボルト
…2個



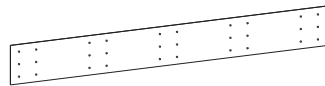
o. M8 ナット
…6個



p. ワッシャー
…2個



q. 盗難防止用ロックパーツ
…4個



r. 型紙…1個

ディスプレイを取付ける際に使用する部品



M-A. M4x14 ボルト…8本



M-B. M5x14 ボルト…8本



M-C. M6x14 ボルト…8本



M-D. M8x16 ボルト…8本



M-E. M4x30 ボルト…8本



M-F. M5x30 ボルト…8本



M-G. M6x30 ボルト…8本



M-H. M8x35 ボルト…8本



M-I. M4/M5 ワッシャー
…8個



M-J. M6/M8 ワッシャー
…8個



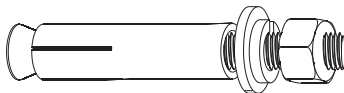
M-K. スペーサー小 (10mm)
…8個



M-L. スペーサー大 (20mm)
…8個

※多くのディスプレイに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

天井部取付けに使用する部品 (コンクリート天井専用ネジ)



W-A. アンカーボルト…12個

※アンカーボルトにはワッシャー、スプリングワッシャー、六角ナットが初めから付いています。

※コンクリート用のネジが付属しています。付属のネジが天井の種類や状態と合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

その他



s. 両口スパナ
(13/10mm)…1個



t. 六角レンチ (4mm)
…1個



u. 六角レンチ (5mm)
…1個

Step 1. ブラケットを取付ける前に

- 【1. 取付けを行う前に、ディスプレイが今回お買い上げの天吊り金具に取付けできるかを今一度確認してください。】
- 【2. ディスプレイの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください】

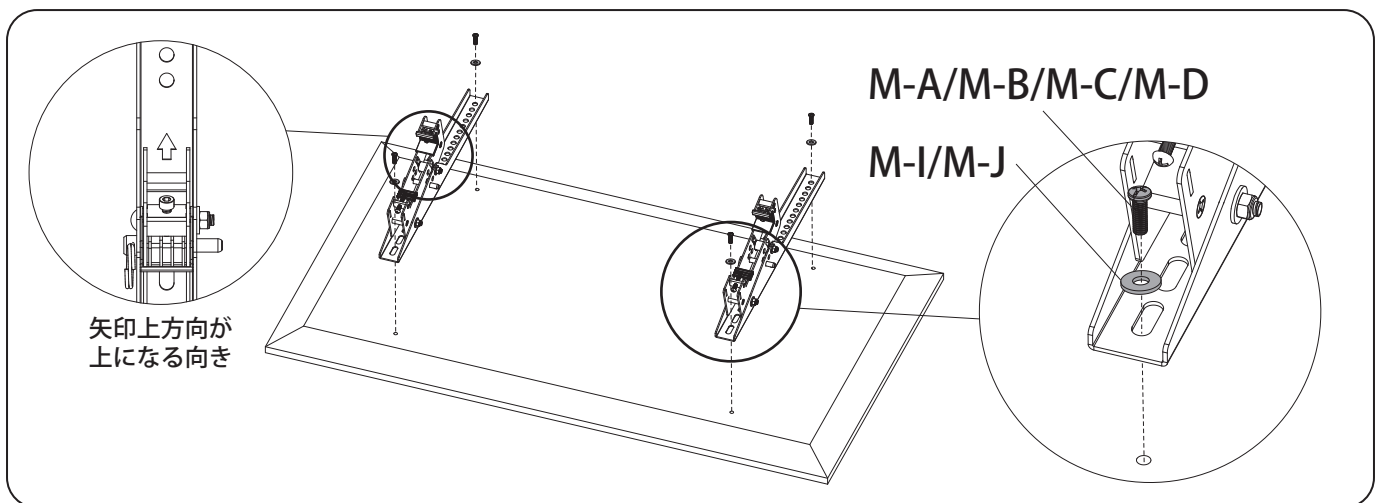
Step 2 - ①. ブラケットの取付け ～ディスプレイ背面がフラットの場合～

ディスプレイの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

- 下図を参考に、ディスプレイ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼ブラケット (c) を▼ワッシャー (M-I/M-J)、▼ボルト (M-A/M-B/M-C/M-D) を使って取付けます。[→Step3 へ進む]

ポイント

- ・ボルトはディスプレイ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属ネジの全ては使用しません。**
- ・ブラケットの矢印上方向が上になる向きに取付けてください。また、2つのブラケットが平行になるように取付けてください。左右とも取付ける穴の位置は同じにしてください。



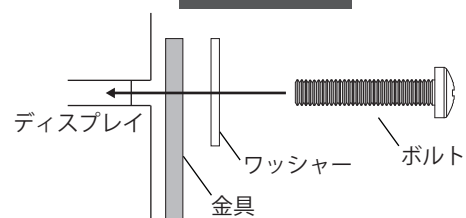
! 注意

付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのディスプレイネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。

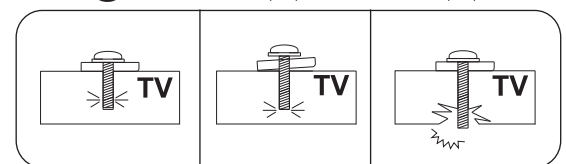


無理に取付けを行うと、ディスプレイの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序



最適なサイズのボルトを使用



Step 2 - ②. ブラケットの取付け ～ディスプレイ背面に段差がある場合～

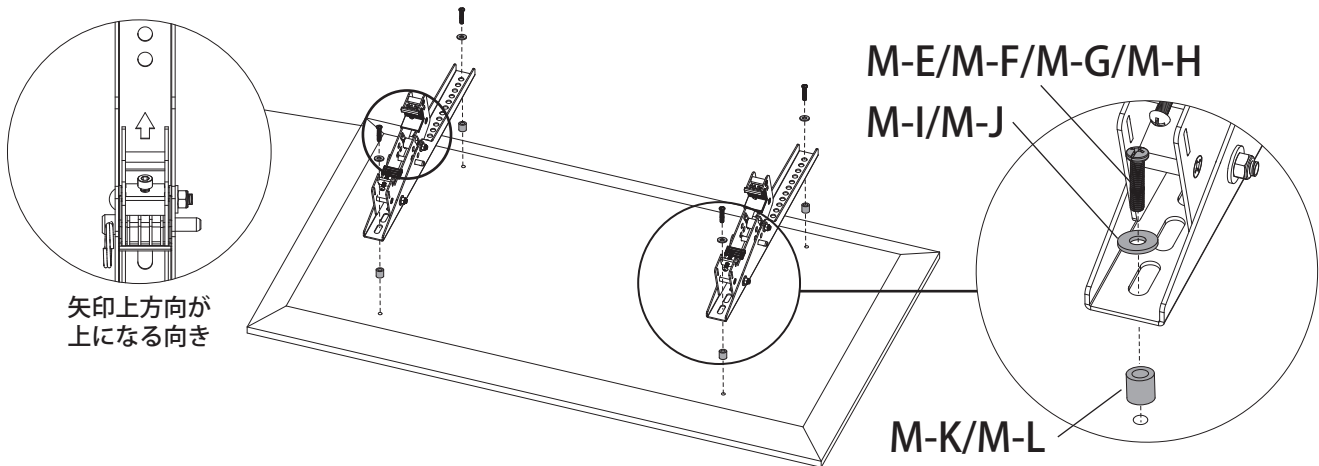
ディスプレイの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

- ディスプレイに段差がある場合やブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、▼**スペーサー**を使用して取付けます。下図を参考に、ディスプレイ背面に開いている金具取付けネジ穴に▼**ブラケット(c)**を▼**スペーサー (M-K/M-L)**、▼**ワッシャー (M-I/M-J)**、▼**ボルト (M-E/M-F/M-G/M-H/M-I/M-J)**を使って取付けます。[→Step3 へ進む]

ポイント

- ・ ボルトはディスプレイ背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。付属のネジ類の全ては使用しません。
- ・ スペーサーは段差の高さに合ったものを選んで取付けてください。
- ・ ブラケットの矢印上方向が上になる向きに取付けてください。また、2つのブラケットが平行になるように取付けてください。左右とも取付ける穴の位置は同じにしてください。

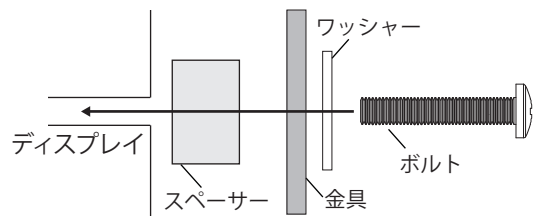
段差の高さに合わせて、スペーサー (M-K/M-L) を選んで使用してください。



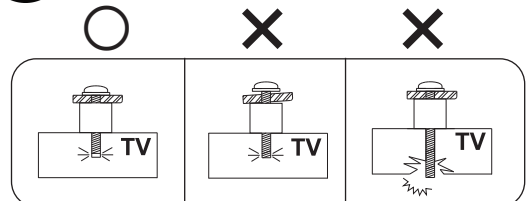
注意

- ⊘ 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのディスプレイネジ穴の径や深さに合わない場合は、別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。
- ⊘ スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。
- ⊘ 無理に取付けを行うとディスプレイの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序



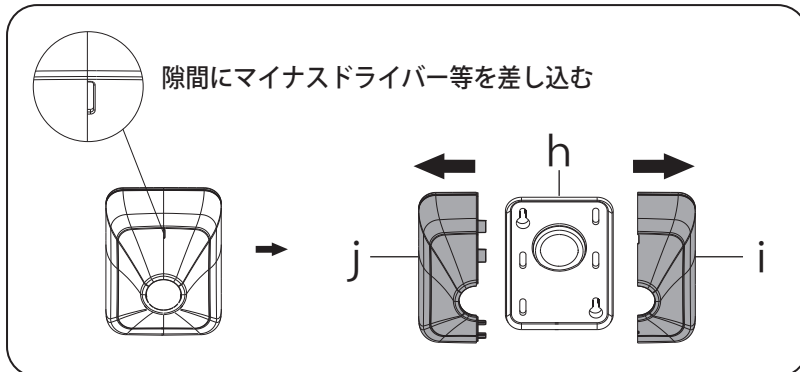
最適なサイズのボルトを使用



Step 3. ポールの組立てと天井への取付け

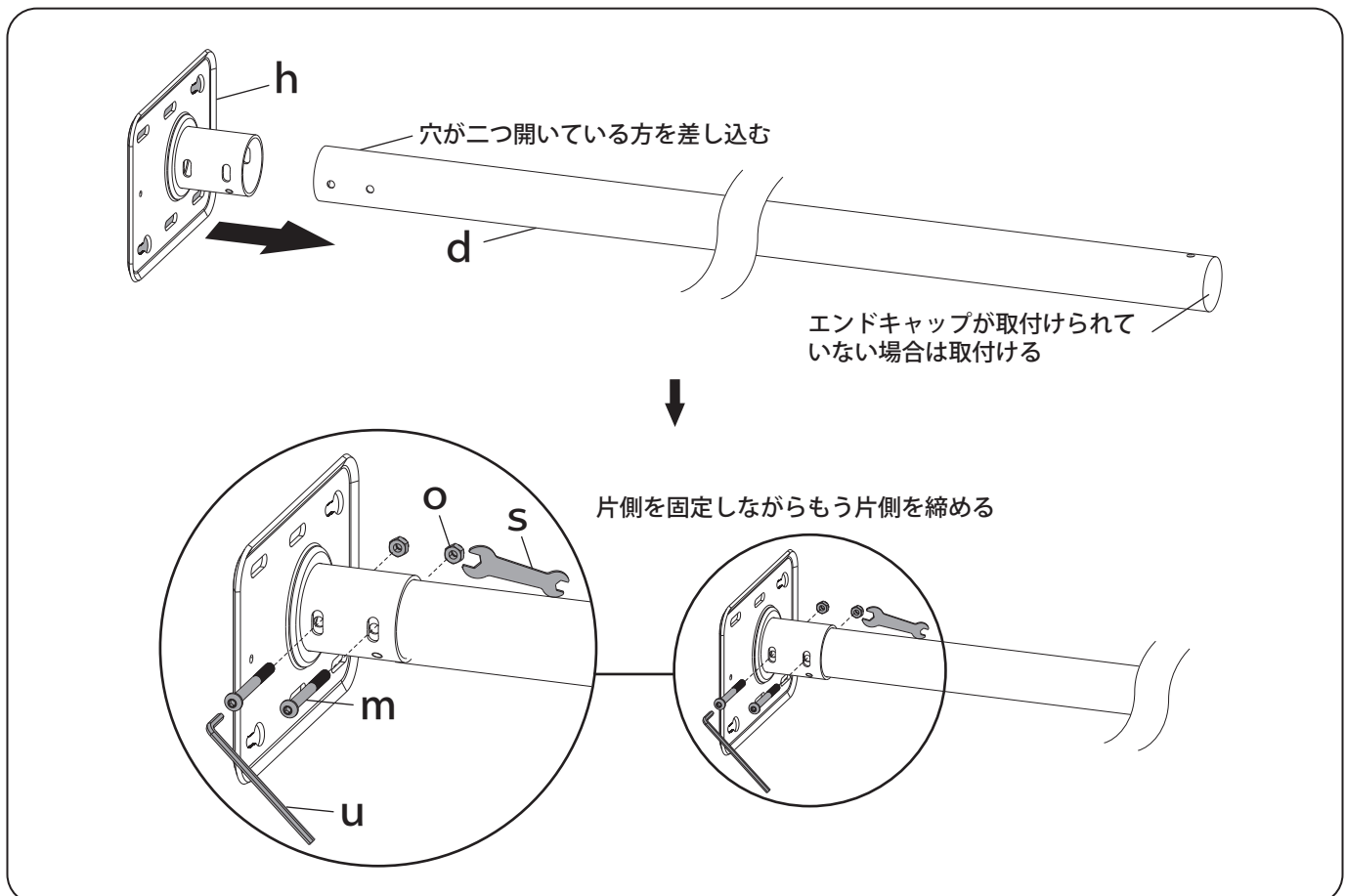
【1. 天井プレートからカバーを取外す】

- 下図を参考に、お手持ちのマイナスドライバー等を使用して▼天井プレート(h)、▼天井プレートカバー(メス)(i)、▼天井プレートカバー(オス)(j)を取外します。取外しの際に、プレートカバーが破損しないように注意してください。



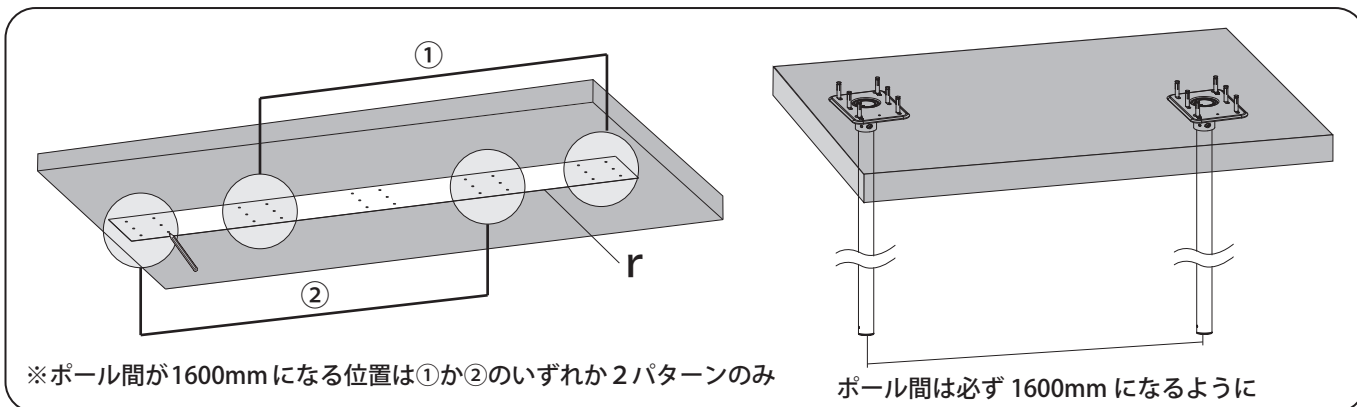
【2. ポールを組立てる】

- 下図を参考に、▼ポール(d)の2つ穴が開いている方を▼天井プレート(h)に差し込みます。
- ▼ポール(d)と▼天井プレート(h)の穴を揃えた状態で、片側から▼M8×80 ボルト(m)を▼六角レンチ(5mm)(u)で、もう片側から▼M8 ナット(o)を▼両口スパナ(s)の大きい方を使用して固定します。
- ▼ポール(d)先端に▼エンドキャップ(e)が取付いていなかった場合は取付けてください。



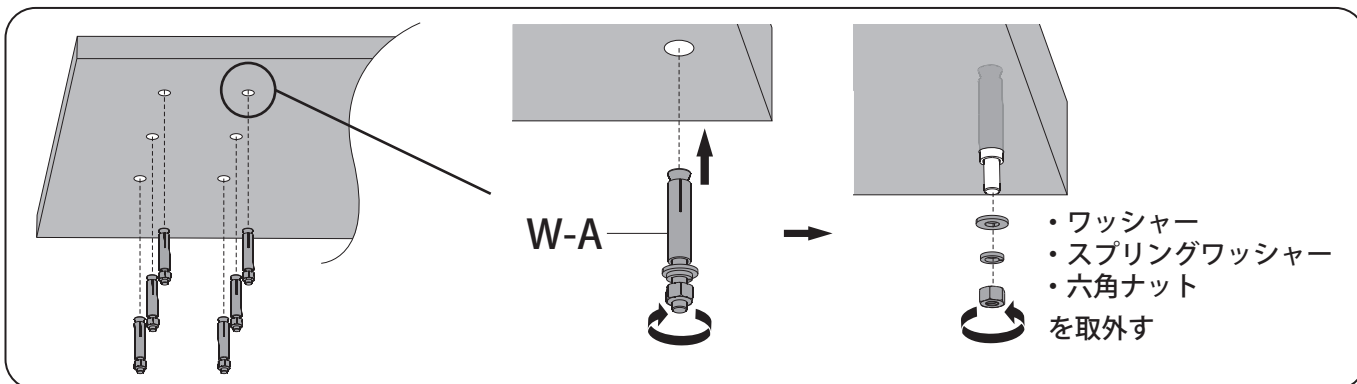
【3. 天井に下穴を開ける】

- 下図を参考に、取付けたい天井に▼型紙 (r) をあて、下穴を開ける箇所に印を付けます。2本のポールの間が必ず 1600mm になるように、穴の位置に注意してください。
- 印を付けた箇所に下穴を開けます。





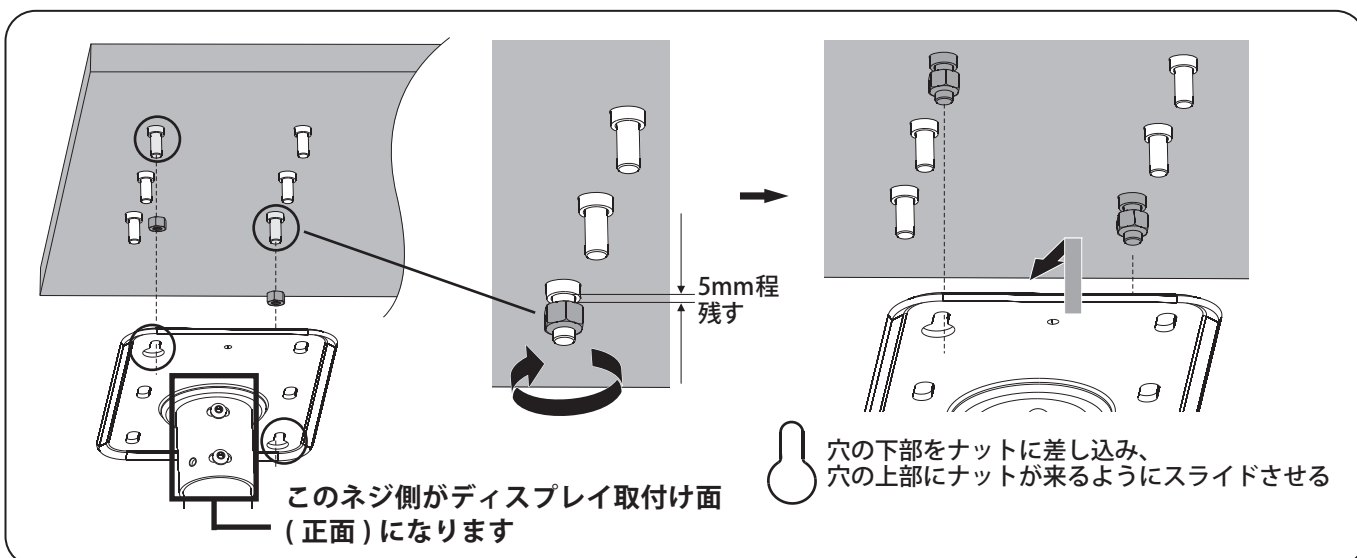
【4. 天井にアンカーボルトを差し込む】

- 下図を参考に、下穴を開けた箇所に▼アンカーボルト (W-A) を差し込み、アンカーボルトに付いている六角ナット・スプリングワッシャー・ワッシャーを取外します。



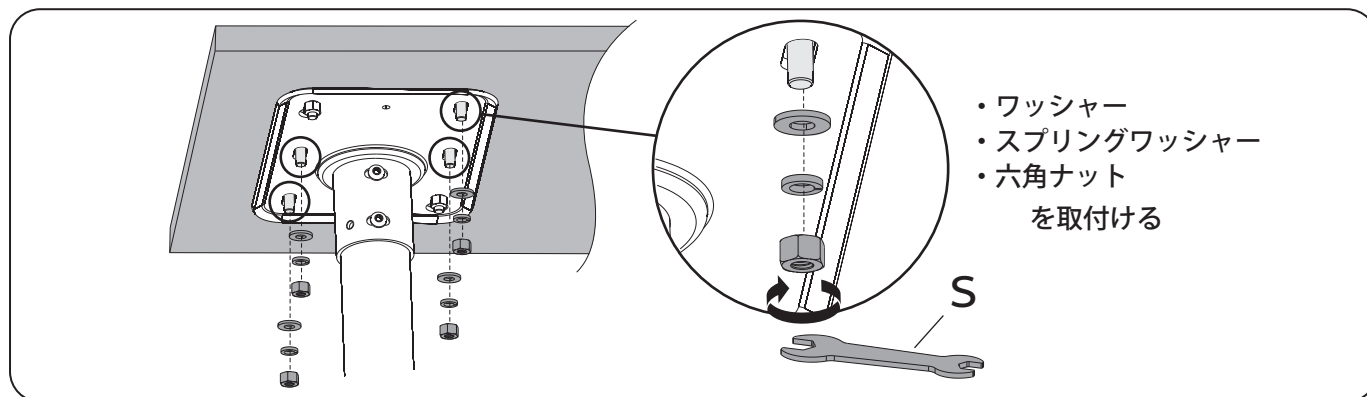
【5. 組立てたパイプを天井に取付ける】

- 下図を参考に、4. で取外した六角ナットのみを、▼天井プレート (h) を取付ける際に  の形の穴がはまる箇所 (片側2点) に取付けます。最後まで締め切らず 5mm 程度残して取付けてください。
- 六角ナットを取付けたら、▼天井プレート (h) の  の形の穴の下部を六角ナットに差し込み、穴の上部に六角ナットが来るようにスライドさせます。
- スライドさせて位置が決まったら、▼両口スパナ (s) の大きい方を使用して六角ナットを最後までしっかりと締めて固定します。



● 下図を参考に、残りの箇所にもワッシャー・スプリングワッシャーをはさみ、▼両口スパナ (s) の大きい方を使用して六角ナットを最後までしっかりと締めて固定します。

※ワッシャー、スプリングワッシャーは4セット (片側2セット) が余り、使用しません。



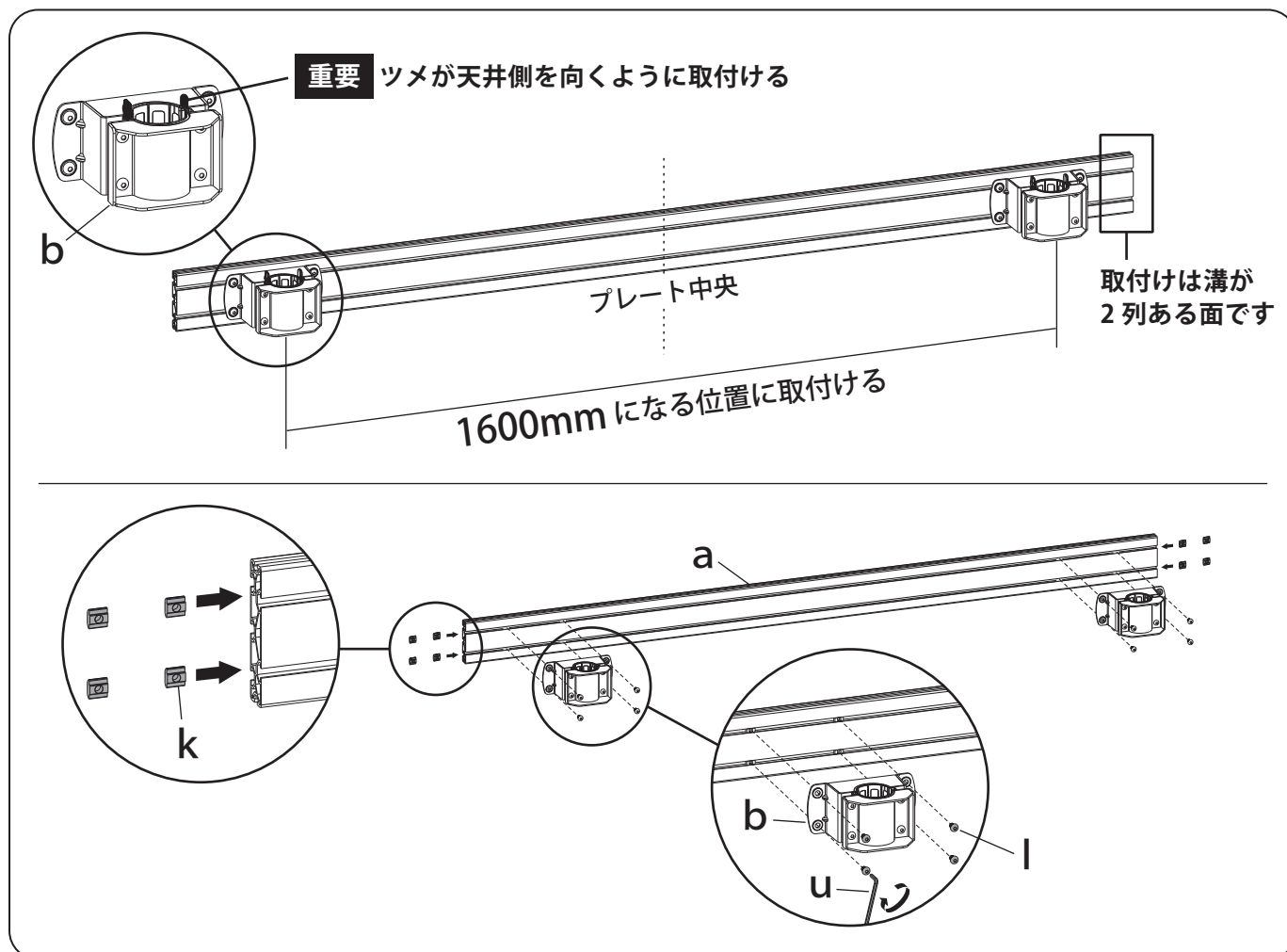
Step 4. ディスプレイ側プレートの組立てとポールへの取付け

【1. ポールジョイントを取付ける】

● 下図を参考に、▼ディスプレイ側プレート (a) 側部から▼スライドナット (k) を左右それぞれ4つずつ差し込み、▼ポールジョイント (b) を取付けます。▼六角レンチ (5mm) (u) を使用して、▼M8×12ボルト (l) で固定してください。

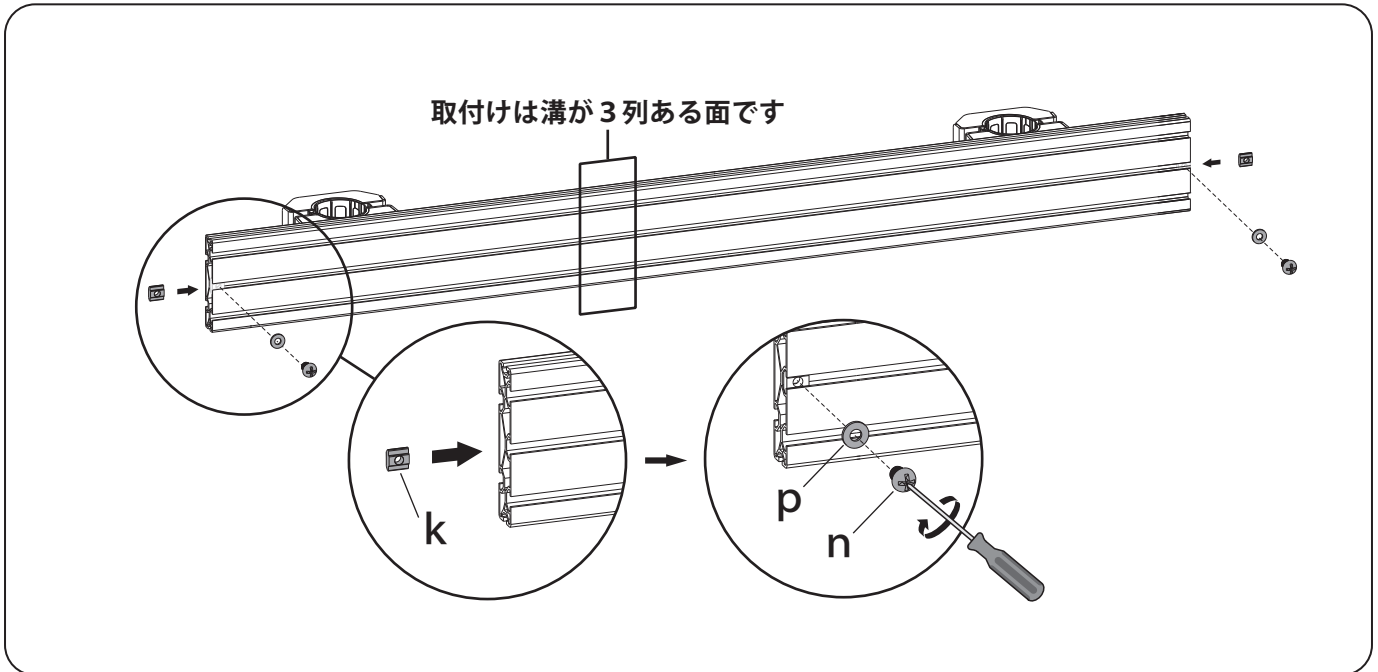
ポイント

- 2つの▼ポールジョイント (b) の距離が 1600mm になる位置に取付けてください。
- 2つの▼ポールジョイント (b) の上下向きが同じになるよう取付けてください。

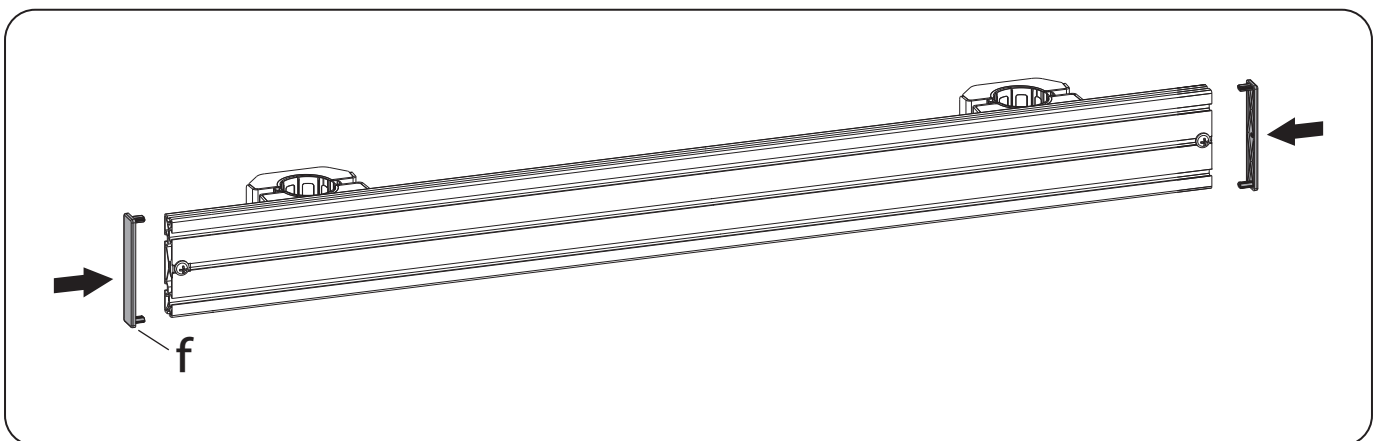


【2. ディスプレイ側プレートに各種パーツを取付ける】

- 下図を参考に、▼ディスプレイ側プレート (a) の、【1.】でポールジョイントを取付けた面の裏側の両端から▼スライドナット (k) を差し込み、プレートの端で▼ワッシャー (p)、▼M8×10 ボルト (n) を使用して固定します。プレート端に突起ができますので、ブラケットの落下を防止します。



- ブラケット落下防止パーツを取付けたら、▼ディスプレイ側プレート (a) 両端に▼ディスプレイ側プレート用エンドキャップ (f) を取付けます。



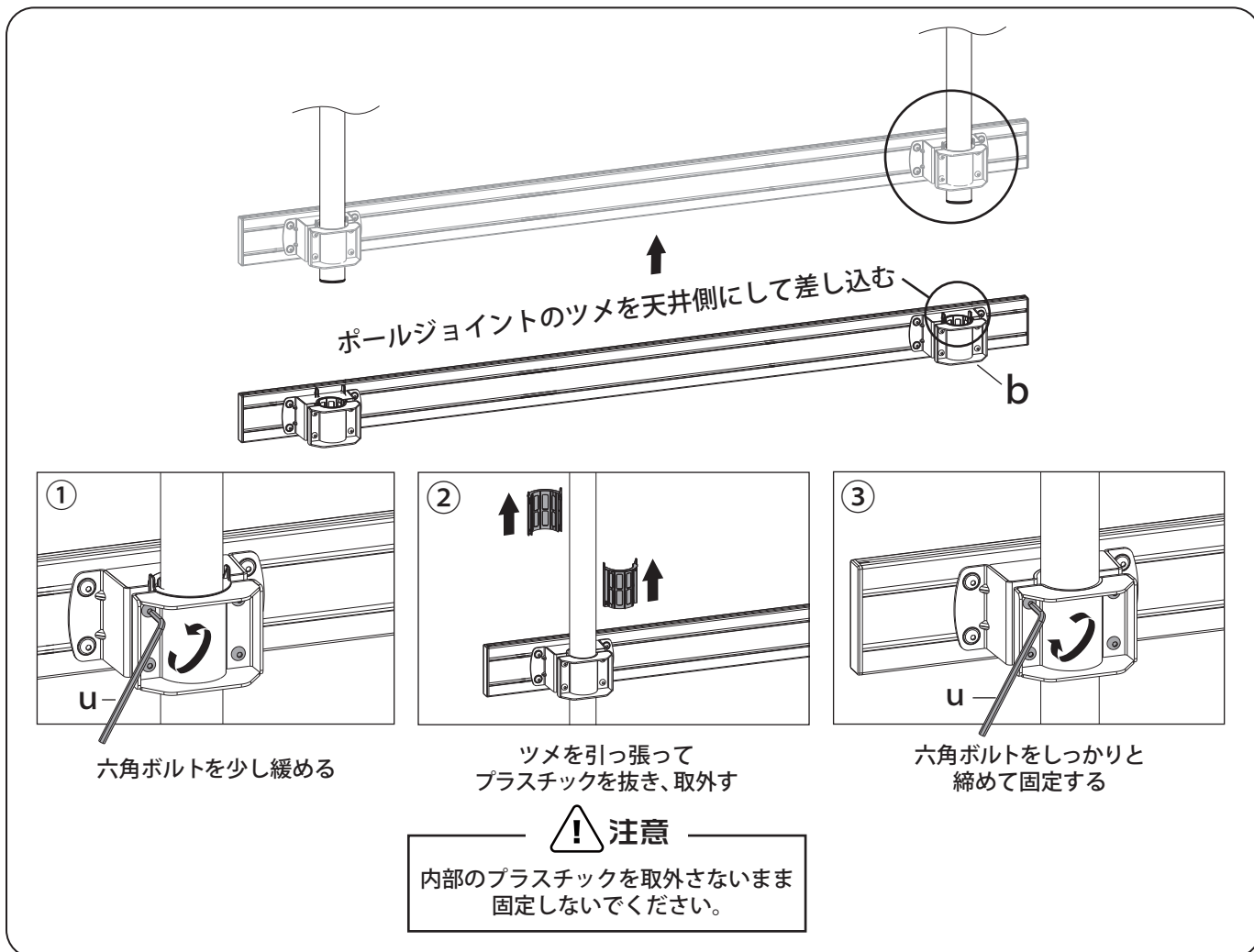
【3. ディスプレイ側プレートをポールに取付ける】



注意

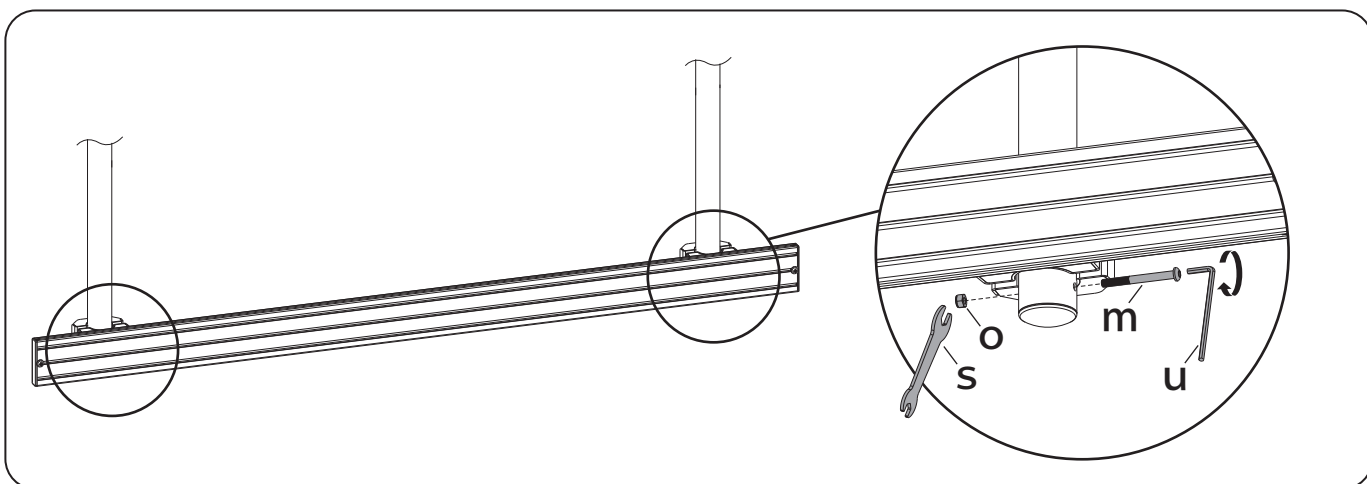
- ▼ディスプレイ側プレート (a) が落下しないよう支えながら行ってください。
- この段階で必ず水平確認を行ってください。

- 下図を参考に、▼ポールジョイント (b) 内側にツメがある方を天井側に向けて、▼ディスプレイ側プレート (a) をポールの下から差し込みます。
- 差し込んだら、▼六角レンチ (5mm)(u) を使用して▼ポールジョイント (b) の六角ボルトを少し緩め、ツメを天井側に引っ張って内部のプラスチックを抜き出し、ポールから取外します。
- プラスチックを取外したら、再度▼六角レンチ (5mm)(u) を使用して▼ポールジョイント (b) の六角ボルトをしっかりと締めて固定します。



【4. 落下防止パーツを取付ける】

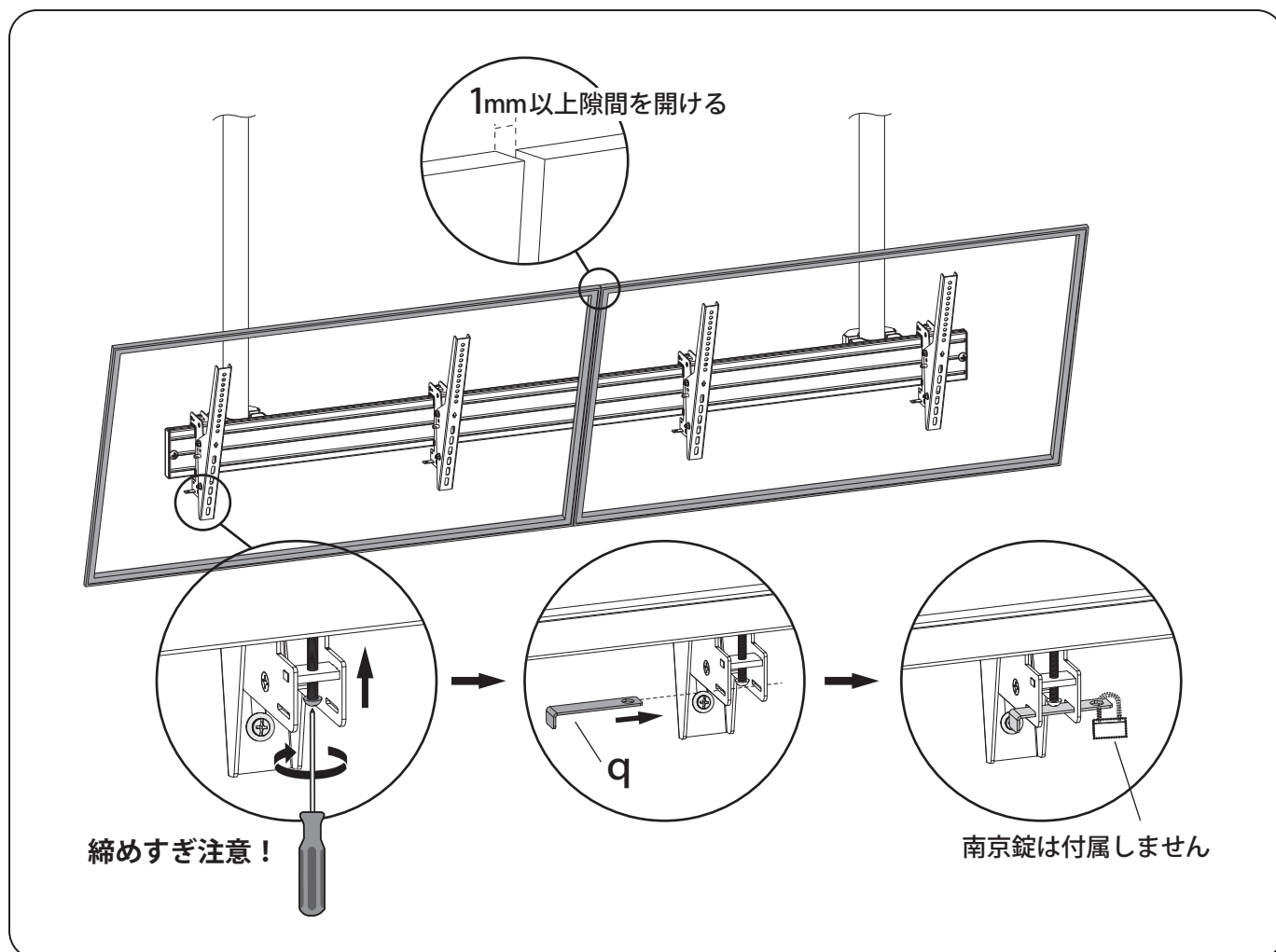
- 下図を参考に、ポール下部に片側から▼M8×80 ボルト (m) を▼六角レンチ (5mm)(u) で、もう片側から▼M8 ナット (o) を▼両口スパナ (s) の大きい方を使用して固定します。ディスプレイ側プレートの落下を防止します。



Step 5. ディスプレイを引っ掛けて固定する

【1. ブラケットをディスプレイ側プレートに引っ掛けて固定する】

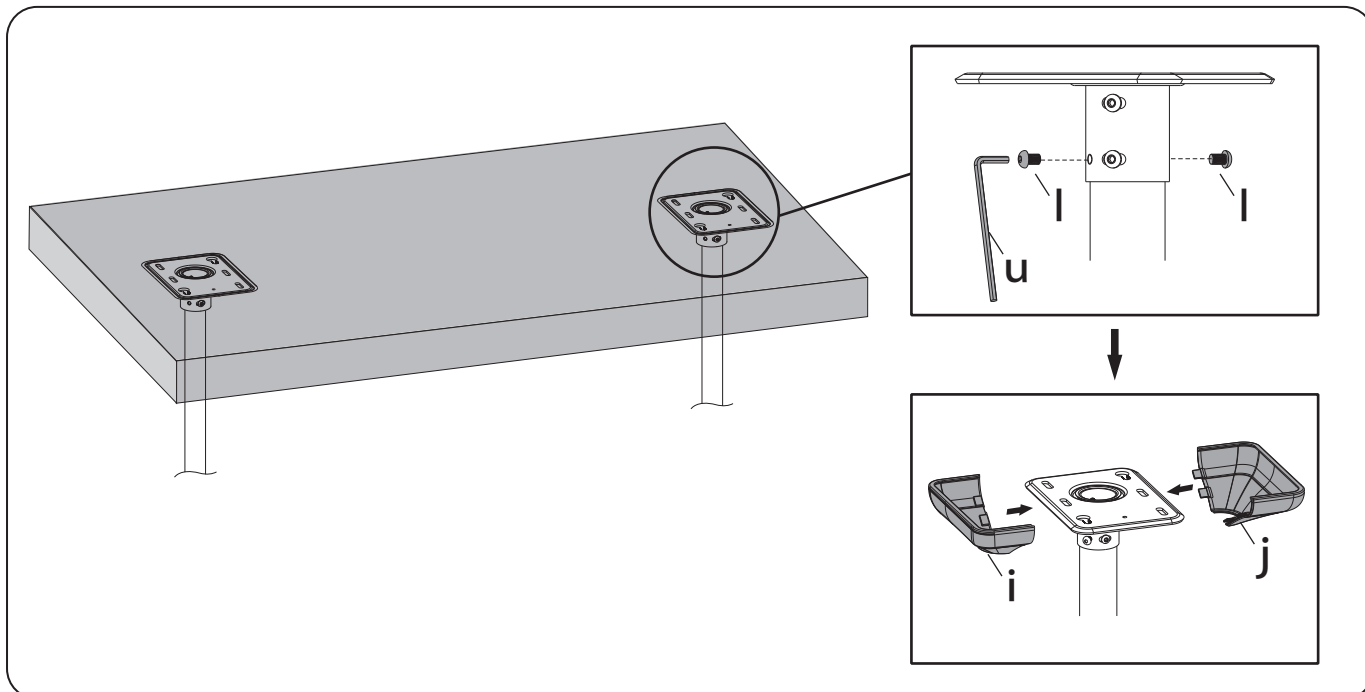
- 下図を参考に、ディスプレイ背面に取付けた▼ブラケット(c)を▼ディスプレイ側プレート(a)に引っ掛けます。この時、2つのディスプレイの隙間を1mm以上開けてください。
- ディスプレイを引っ掛けたら、ブラケット下部の安全止めネジを締めます。締めすぎに注意してください。
- 必要に応じて▼盗難防止用ロックパーツ(q)を取付けます。なお南京錠は付属しませんので、必要に応じてホームセンター等でご用意ください。



Step 6. プレートカバー・ケーブルクリップを取付ける

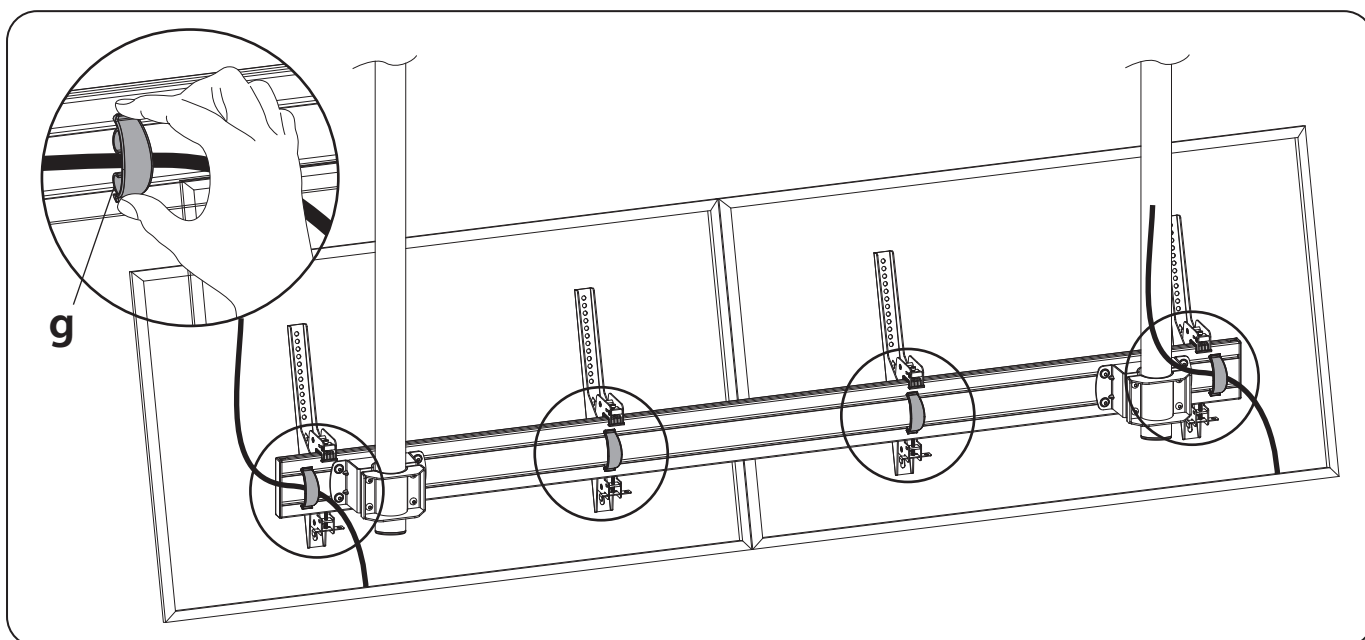
【1. 天井プレートカバーを取付ける】

- 下図を参考に、ポール上部の両側に開いた穴に▼六角レンチ (5mm)(u) を使用して▼M8×12 ボルト(l) を取付けます。
- ボルトを取付けたら、天井プレートの左右から▼天井プレートカバー(メス)(i)、▼天井プレートカバー(オス)(j) をカチッと音がするまでしっかりと取付けます。



【2. ケーブルクリップを取付ける】

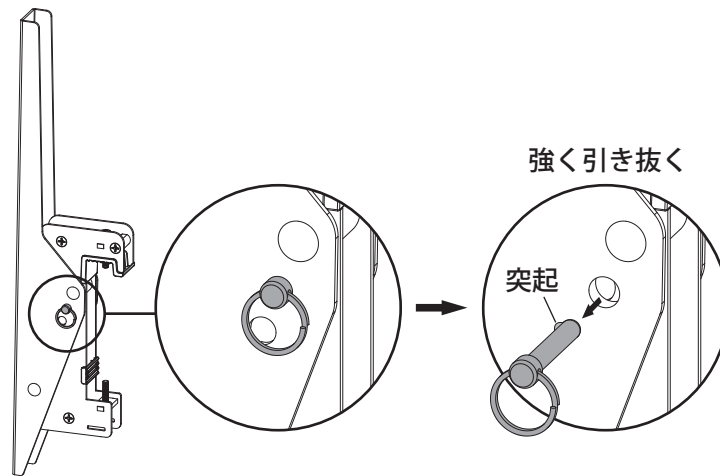
- 下図を参考に、▼ディスプレイ側プレート (a) に▼ケーブルクリップ (g) を取付けます。ディスプレイ裏のケーブル類を通すことができます。



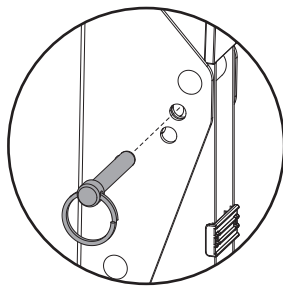
Step7. ディスプレイの上下角度・上下位置を調節する

【1. ディスプレイの上下角度を調節する】

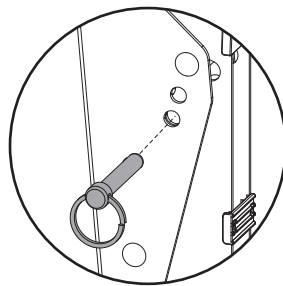
- ブラケットのピンの先端に丸い突起がありとまっていますが、リング部分を持ち、強く引き抜けば抜き差しができます。
- ブラケットのピンを抜いた状態でディスプレイを直接動かすことで、上下角度の調節が可能です。
- 調節可能角度は、 0° / -5° / -10° / -15° / -20° の5段階です。



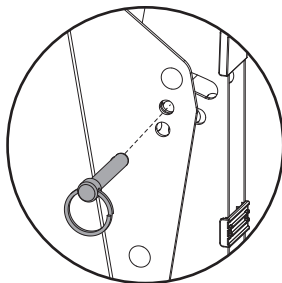
0° ピン：上側に刺す



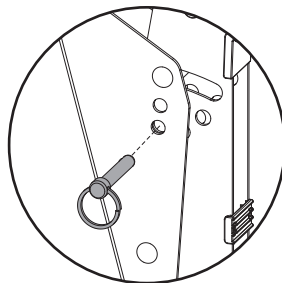
-5° ピン：下側に刺す



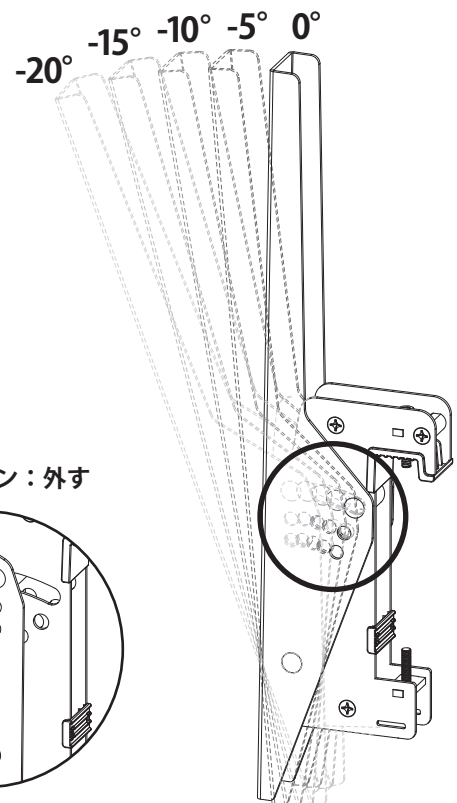
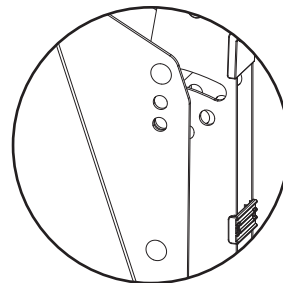
-10° ピン：上側に刺す



-15° ピン：下側に刺す

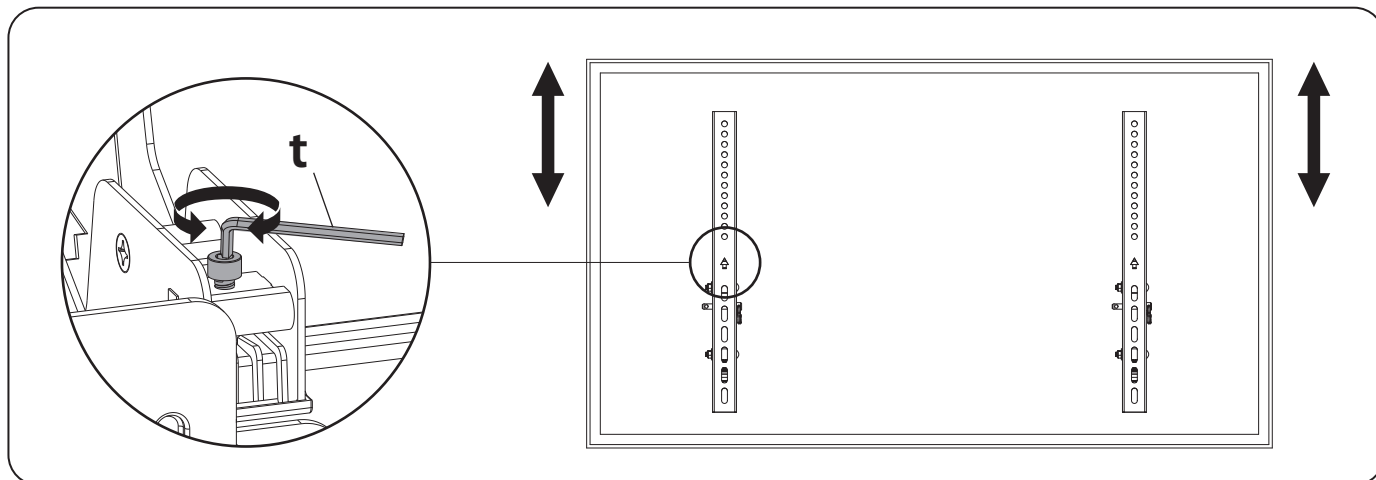


-20° ピン：外す



【2. ディスプレイの上下位置を調節する】

- ▼六角レンチ (4mm)(t) を使用してブラケットの六角ボルトを調整することで、上下位置の微調節 (5mm 程度) が可能です。



Step 8. 最終確認

- ✓ 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に (3 ヶ月～半年に 1 回程度) 実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- ✓ 経年使用による落下が無いように、各取付け部分及びボルトやネジ・ナットの増し締めを半年に 1 回程度は実施し、注意をして使用してください。

免責事項

- 本取扱説明書に記載されている警告・注意事項や禁止事項を遵守しない不適切な使用、取り付け不備、お客様による商品の改造などによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失、壁面のネジ穴跡や変色など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp